

地域医療連携室便り

2014年9月1日発行 第26号

筑波記念病院 HP: <http://www.tsukuba-kinen.or.jp/>
〒300-2622 茨城県つくば市要 1187-299
TEL (代表): 029-864-1212
地域医療連携室 E-mail: renkeishitsu@tsukuba-kinen.or.jp
TEL: 0120-301-266, 029-864-1677
FAX: 029-864-2782

診療科紹介～心臓血管外科～

心臓血管外科部長、診療統括部長 末松 義弘

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当院心臓血管外科は2008年1月11日以降、皆さまの甚大な御協力により地道に診療を行って参りました。通常の低侵襲冠動脈バイパス術、弁形成術、大動脈手術はもとより、ご存知のように全国でも難易度が高いためにほとんど行われていない補助人工心臓手術でも実績を上げて参りました。下肢静脈瘤に対するレーザー治療が昨年4月から保険償還されるようになったことから、当科でも第一選択として施行しております。また、大動脈瘤に対するステントグラフト治療を開始しており、現時点で全国の大学病院でも到底不可能な守備範囲で高度最先端の治療が可能となっております。特にここ最近では関東全域の大学病院、総合病院で合併症およびハイリスクのため手術非適応となった患者さんの外科治療を行う機会が増えております。

総手術件数も徐々に増加し、本年度は大学病院と並び県内トップの症例数を誇っております。また学術的にも本年度は学会発表27件、論文発表11本を行い、医学生の見学実習希望も後を絶ちません。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と、心より感謝しております。今後とも地域医療の発展にむけ、誠心誠意精進するよう努力していく所存であります。患者さんのために今後とも良好な地域連携の継続を何卒宜しくお願い致します。

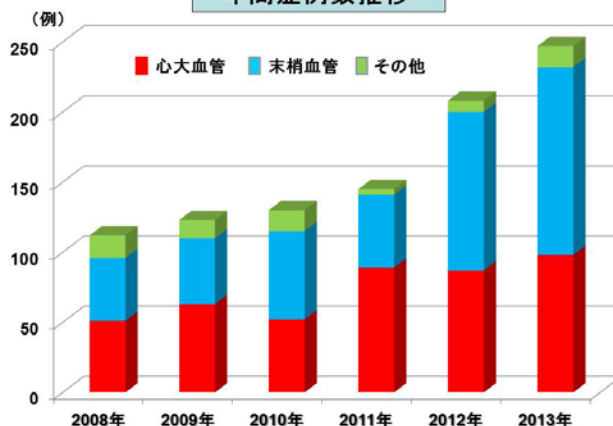


夏休み病院探検ツアー

心臓血管外科では、7月30日、「夏休み病院探検ツアー」を実施しました。つくば市内の小中学生を対象に、ブタの心臓をつかった手術体験や、薬剤部、救急外来等を回る病院見学を行い、病院に対する興味を深めてもらいました。



年間症例数推移



地域医療連携公開講座

去る7月29日(火)、2014年度第4回地域医療連携公開講座を開催しました。「終末期医療の現状～リビング・ウィルを中心に～」と題し、柏木平八郎医師が講師を務めました。医師、看護師、介護職など院内外を含めて85名の様々な職種の方に参加していただきました。リビング・ウィルとは、終末期医療に対する自発的意思を予め表した事前指示書のことで、英語(Living Will)は生前意思と訳されます。

公開講座では、高齢社会の現状を概観し、終末期の備えの必要性に触れながら日本と海外の終末期医療の異なる点についてお話がありました。後半では当院看護師から、実際にリビング・ウィルを作成した事例と作成しないまま最後を迎えられた事例の紹介があり、柏木医師が質問に答えながら、参加者全体で終末期医療について考える時間を提供しました。

医療技術の進歩により長寿社会を迎えるようになりましたが、私達人間は不老不死ではありません。いつの日か誰も必ず最期のときを迎えます。そのときに患者さん、ならびにご家族が満足のいく最後を迎えられるよう、医療従事者として最善を尽くせるためにもリビング・ウィルを積極的に取り入れることは、大変意義深いのではないのでしょうか。人の最期は様々です。今回、本講座に参加し患者さんが望まれる最期の迎え方について改めて考える機会としていただけることを願っております。

